

アクワイヤ

日本語ルール(2000/05/16版)

ゲームでの用語

会社(Corporation)

2つ以上の上下、または左右に連続したタイルのことを会社と呼びます。斜めの場合は会社とは呼びません。

独立タイル(Unincorporated Tile)

一つ以上のタイルから構成されている、会社とっていないタイルを独立タイルと呼びます。

活動している会社(Active Corporation)

ゲームボード上に存在している会社を活動している会社と呼びます。

安定した会社(Safe Corporation)

11枚以上のタイルから構成されている会社のことを安定した会社と呼びます。

創設者(Corporation Founder)

2つ以上のタイルを結合させることにより、会社を創設したプレイヤーを創設者と呼びます。

創設者ボーナス(Founder's Bonus Stock)

会社を創設することにより、創設者に与えられる1枚の無料株券のことを創設者ボーナスと呼びます。なお、与えられる株券は創設した会社の株券となります。

筆頭株主と次席株主(Majority and Minority Stockholders)

ある会社の株券をもっとも多く所有しているプレイヤーを筆頭株主、2番目に多く所有しているプレイヤーを次席株主と呼びます。

筆頭、次席株主ボーナス(Majority and Minority Stockholders' Bonuses)

ゲーム終了時と、合併により会社が消滅した場合に筆頭株主と次席株主に支払われるボーナスを筆頭、次席株主ボーナスと呼びます。支払われる金額は情報カードに記載されている会社名と、その会社を構成するタイルの数の交わる欄の金額となります。

合併(Merger)

プレイヤーがタイルを置くことにより、2つ以上の会社が1つになることを合併と呼びます

合併実行者(Mergemaker)

2つ以上の会社が合併するようにタイルを置いた

プレイヤーを合併実行者と呼びます。

ゲームの準備

最初にゲームをプレイする際は、袋から各パーツを取り出してください。なお、情報カードを切り抜く際は充分注意してください。以後、ゲームをプレイする際は下記の準備をしてください。

1. 平らなテーブルの上にゲームボードを広げ、灰色のタイルを裏返して、ゲームボードの近くに置きます。
2. プレイヤーの中からバンカー（銀行の係）を選びます。バンカーとなったプレイヤーは英文化ルールブックの写真のように株券などを準備します。
3. バンカーは各プレイヤーにそれぞれ下記のお金を配ります。また、あまったお金は金額ごとの山にしておきます。

各プレイヤーへの配分金額

- \$1000 × 4
- \$500 × 3
- \$100 × 5

第一プレイヤーの決定

各プレイヤー、それぞれに裏返しになっているタイルを1枚取り、ゲームボード上のタイルに記載されている数字/文字に合致する位置にタイルを置きます。置かれたタイルのうち1Aにもっとも近いタイルを置いたプレイヤーが第一プレイヤーとなります。第一プレイヤーが決定しても、タイルはゲームボード上に残しておきます

例：9Aは1Bよりも1Aに近くなります。

注記：第一プレイヤーを決定するためのタイルが隣接した場合、これらのタイルは独立タイルとみなします。もし、プレイ中にこれらのタイルに隣接してタイルが置かれた場合、これらは会社となります。

第一プレイヤーが決定したら、各プレイヤーは6枚ずつタイルを引き、他のプレイヤーにみえないように手元に置きます。なお、タイルは他のプレイヤーに見せてはいけません。

資産の公開/非公開

プレイ開始前に各プレイヤーのお金と株券を公開とするか、非公開とするかを決定します。公開としたプレイはこのゲームを初めてプレイするか、あまりプレイしたことがないプレイヤーに適しています。非公開としたプレイは、他のプレイヤーの資産を覚えていなければならないので、よりむづかしくなります。

注記：プレイヤーはいつでも、ある会社の株券のうち、購入されていない株券の枚数を調べることができます。

プレイの概要

各プレイヤーはそれぞれ下記の順番でプレイを行います。

- 1.手元のタイルから1枚取り、ゲームボード上のタイルに記載されている数字/文字に合致する位置にタイルを置きます。
例：1Aの記載があるタイルはゲームボード上の1Aの位置に置きます。
- 2.活動している会社の株券を購入します。1ターンに購入できる枚数は3枚までです。
- 3.あらたなタイルを1枚引いて、手元のタイルに加えます。

プレイの詳細

1.タイルの配置

タイルはその配置される場所により、会社の一部となるか、または二つ以上の会社の合併が発生することがあります。もちろん、単独タイルとなることもあります。

会社の創設

ゲームボード上の単独タイルの上下、または左右にタイルを配置することにより、会社が創設されます。創設者はまず、株式市場トレイより創設する会社を選んで、その会社のビルマーカーを会社を構成するタイルのいずれかの上に置きます。また、創設者ボーナスの株券を株式市場トレイより受け取ります。

注記：もし、創設者がすべての会社の株券を所有している場合、創設者ボーナスを受け取ることはできません。

ゲームボード上に8つめの活動している会社を創設するように配置することはできません（ゲーム中に同時に登場する会社は7つまでです）。しかしながら、ゲームボード上の会社が消滅し、利用可能な会社ができただけの場合、これらのタイルは配置することができるようになります。

会社の合併

二つ以上の会社をつなぐ位置にタイルが配置された場合、それらの会社は合併します。合併した会社のうち、より多くのタイルにより構成されていた会社が存続し、それ以外の会社は消滅します。なお、この場合のタイルの数には合併を発生させたタイルは含めません。もし、会社を更生するタイルが同数であった場合は、合併実行者が存続する会社を選択します。存続する会社が消滅する会社を吸収することとなり、消滅する会社のビルマーカーは株式市場

トレイに戻されます。

注記：3つ以上の会社の合併については複数合併の項目を参照。

安定した会社

11個以上のタイルにより構成されている会社は、以後、ゲーム終了まで他の会社によって吸収されることはありません。なお、安定した会社によって他の会社を合併することは可能ですが、安定した会社同士が合併することはありません。また、安定した会社同士をつなぐ位置のタイルは以後、配置することができなくなりますので、これらのタイルは手元から捨てることができます。これらのタイルを捨てた場合は、同数のタイルを引きます。

筆頭、次席株主ボーナス

合併が発生した場合、各プレイヤーは消滅する会社の株券を何枚所有しているかを公開します。消滅する会社の株券をもっとも多く所有しているプレイヤーが筆頭株主、2番目に多く所有しているプレイヤーが次席株主となります。バンカーは筆頭、次席株主に筆頭、次席株主ボーナスを銀行より支払います。

もし、一人のプレイヤーしか消滅する会社の株券を所有していなかった場合、このプレイヤーが筆頭、次席株主ボーナスの双方を受け取ります。もっとも多くの株券を所有しているプレイヤーが二人以上いた場合は、筆頭、次席株主ボーナスの合計を、均等に分け合います。なお、この場合、端数は\$100単位で切り上げます。また、この場合、次席株主のボーナスは支払われません。次席株主が二人以上いた場合は、次席株主ボーナスを均等に分け合います。なお、この場合、端数は\$100単位で切り上げます。

筆頭、次席株主ボーナスは情報カードで調べます。まず、消滅する会社の欄を探し、その欄と、消滅する会社のタイルの数との交差する欄を調べます。この欄に記載されている金額が筆頭、次席株主ボーナスとなります。このボーナスは銀行から支払われます。

注記：存続する会社の株券に対しては支払いは行われません。しかしながら、合併したことにより、この会社の株券の価値が高くなることになります。

筆頭、次席株主ボーナスの支払いを行った後、消滅した会社の株券の所有者はその株券を所有しつづけるか、売却するか、交換するかを決定します。この決定は、合併実行者より時計まわりで行います。

所有

消滅した会社が再度、設立されることを見込んで所有を続けます。

売却

情報カードの消滅する会社と、その会社のタイル数の交差する欄の金額（株券1枚あたりの金額です）を受け取り、株券を売却します。

交換

消滅する会社の株券2枚と、存続する会社の株券1枚を交換することができます。もちろん、存続する会社の株券がすべて他のプレイヤーの所有となっている場合は交換できません。

注記：プレイヤーはこれら3つの選択を組み合わせることが可能です。たとえば、何枚かを所有し、何枚かを売却することもできます。

複数合併

一枚のタイルの配置により、3つ、または4つの会社が合併することがあります。この場合、もっとも大きな会社が存続し、これ以外はすべて消滅します。なお、同数の場合は合併実行者が存続会社を決定します。消滅する会社のうち、タイル数の大きい会社から順に、筆頭、次席株主ボーナスの支払い、消滅する会社の株券処理を行います。いずれの場合も、合併実行者が最初に行います。

2.株券の購入

タイルの配置を終えたら、活動している会社の株券を購入することができます（行わなくてもかまいません）。各ターンに、プレイヤーは3枚までの株券を購入することができます。たとえば、あるターンに活動している会社のうち、3つの会社の株券を1枚ずつ購入することも可能ですし、ある会社の株券を1枚と、他の会社の株券を2枚購入することもできます。もちろん、同一の会社の株券3枚を購入することも可能です。

株価

株券購入の際の価格は情報カードで調べます。

購入する株券の会社の欄を探し、その欄と、その会社のタイルの数との交差する欄を調べます。この欄に記載されている金額が株価となります。なお、株券購入の際に支払われたお金は株式市場トレイにしまわれます。また、各会社の株券はそれぞれ25枚しかなく、それ以上の株券を購入することはできません。

お金がなくなったら

積極的に筆頭株主になるために争うことは非常にリスクがともないます。大きな会社に合併されるような規模の会社に投資するほうがより懸命です。株券を購入するお金がなくなったプレイヤーはただタイルを置き、株券を所有する会社が合併され、お金を手にする可能性を待つだけとなります。株券を売ることができるのは会社が消滅したときだけであることを忘れないでください。このゲームでは、銀行や他のプレイヤーからお金を借りることはできない

のです。

3.タイルを引く

プレイヤーは未使用のタイルからタイルを1枚引きます。このタイルを引くことによりそのプレイヤーの手番が終了するわけではなく、使用することができなくなったタイルをもっている場合は、この時点で使用不能なタイルを捨てることができます。捨てるタイルは文字が書いてある面を表にして、未使用のタイルとは分けておきます。この際、使用不能なタイルが複数あった場合は、すべて捨て、同数のタイルを引くことができますが、引いたタイルの中に使用不能なタイルがあっても、それは次のターンまで捨てることはできません。なお、8つ目の会社が作れる可能性のあるタイルは交換できません。

ゲームの終了

あるプレイヤーのターンにおいて、すべての会社が安定した会社となるか、または41タイル以上で構成される会社が誕生したと（ターンプレイヤーによって）宣言された場合、ゲームは終了となります。しかし、ターンプレイヤーがゲームを継続することを望み、宣言しなかった場合、ゲームは継続しますが、他のプレイヤーターン時に宣言されれば、ゲームは終了となります。

ゲームが終了した場合、すべての活動している会社について、筆頭、次席株主ボーナスの支払いを行い、また、プレイヤーが所持している株券についても、その時点での株価で支払いを行います。ゲーム終了時点で活動していない会社の株券は無価値です。

これらの支払いの後、もっとも多くのお金を持っているプレイヤーが勝者となります。

二人プレイ用特別ルール

二人でプレイを行う場合、筆頭、次席株主ボーナスの支払いについての場合を除き、通常のルールが適用されます。

筆頭、次席株主ボーナスの支払いが発生した場合、裏になっているタイルを一つ選んで引きます。このタイルに記載されている数字が株式市場が所有している、消滅した会社の株式の数となります。たとえば、9Fのタイルを引いた場合は、9枚の株式を株式市場が所有していることとなります。なお、これにより株式の枚数が25を越えてもそれは無視します。二人のプレイヤーと株式市場の所有する株式の枚数を比較し、ボーナスの支払いを行います。株式市場に対しては実際の支払いを行いません。なお、ゲーム終了時の支払いも同様に行います。

ルール訳についての質問はe-mailで下記まで...
saida@ss.ij4u.or.jp